



実務家視点からの刑法各論入門書

初学者が刑法の勉強で最初につまずくのは、学説の激しい対立をどう理解するかであろう。さらに、蓄積された判例理論にも目配りしなければならず、それゆえ、刑法の全体像を把握できずに刑法アレルギーになってしまう者も多いことだろう。そんな悩みを抱える者にお薦めしたいのが本書である。本書の総論版はすでにこのコーナーで紹介済みであるが、本書はその各論版で、総論版と同様に網羅的説明よりも、ポイントを厳選してエッセンスのみをやさしい口述形式で説明しているところに特色がある。さらに、初学者にとっての判例学習の仕方も説明されており、「初学者はまず何を学ぶべきか」に対するストレートな回答が提示されており、まさにアレルギー対策にはピッタリの教科書で、これから刑法各論を学ぶ人だけでなく、もう一度勉強し直したい人にもお薦めしたいのが本書である。